

●新資料も含め、創作活動の全貌を初めて解明●

小川未明Ⅱ 全小説・随筆

〈人物書誌大系45〉

小埜 裕二 編 A5・530頁 定価(本体18,000円+税) ISBN978-4-8169-2609-9 2016年6月刊行

小説家・批評家としての未明 全業績と人物像がわかる

- 小川未明の小説家・批評家としての側面に光をあてた個人書誌です。『人物書誌大系43 小川未明全童話』(2012.12刊)の姉妹篇。
- 小説・随筆・評論・詩など童話以外の著作2,060編を収録、各作品の書誌事項と要旨がわかります。
- 初出や作品自体が知られていなかった新資料1,000点に加え、作家の人物像が表れる「アンケート」なども調査して収録しています。
- 「作品名索引」「掲載誌・書名索引」「人名索引」付き。

【目次】

- I 概説 作家・小川未明の世界
- II 年譜
- III 作品 (発表年月順)
- IV 作品集・全集 (書誌事項と収録作品)
- V 索引 (作品名索引、掲載誌・書名索引、人名索引)

編者プロフィール 小埜 裕二 おの・ゆうじ

上越教育大学教授。金沢大学文学部卒。筑波大学大学院文芸言語研究科博士課程、金沢大学助手、上越教育大学助教授を経て現職。小川未明研究会主宰。著書に『童話論 宮沢賢治』(2011)、『人物書誌大系43小川未明全童話』(編、2012)、『文学の体験 近代日本の小説選2』(編、2013)、『小川未明新収童話集』(編、全6巻、2014)がある。小川未明文学館専門指導員も務める。

小川未明 童話作家・小説家 1882~1961

新潟県生まれ。早稲田大学で坪内逍遙らの影響を受け作家となる。今日、童話作家として知られる小川未明は、すぐれた小説家・批評家でもあった。小説家・批評家としての出発とその成果が、童話作家としての彼の活躍を用意した。小説家・批評家としての側面は今日あまり知られていないが、未明が文学史上、特異で、重要な小説を書いた作家であったことは、もっと認められてよい。また、滋味ぶかい随想や、強いメッセージを伝え続けた批評なども数多く残している。

Ⅲ 作品

内容見本

2339 薔薇と巫女 [小説]

〔初出〕「早稲田文学」 明治44年3月

〔あらすじ〕学問をした彼は、迷信に頓着しなかったが、ある夜、重い不快な夢を見た。夢のあと、病気の母が死んだ。以来、彼は迷信を信ずるようになった。村へやってきた巫女が死んだ娘を一瞬生き返らせたという。死んだ母と夢との関係確かめるために彼は旅立つ。月の冴えた晩、巫女の家への門にたどり着く。彼は道の消えた所まで歩いた。そこには大きな礎石があった。彼は礎石に座り、荒れ果てた昔の秘密の園を眺めた。再び故郷へもどった彼は、夢知らせを信じない訳にもいかない気がした。やがて雪がふってきた。

〔収録〕『物言はぬ顔』春陽堂 明45.4

『紫のダリヤ』鈴木三重吉発行 大4.1

『小川未明選集 第1巻』未明選集刊行会 大14.11

『小川未明作品集 第1巻』大日本雄弁会講談社 昭29.6

『定本小川未明小説全集 第1巻』講談社 昭54.4

Ⅳ 作品集・全集

318 『物言はぬ顔』(代表的名作選集 第25編)

新潮社 大正6年5月 四六半裁 158頁 35銭

〔収録作品〕〔1〕物言はぬ顔／〔2〕紫のダリヤ／〔3〕鮮血／*解題

既刊 併用すれば未明の作家活動の全貌が明らかになる

全童話1,183作品、童話集・童話全集210冊

小川未明全童話 〈人物書誌大系43〉

小埜 裕二 編

A5・470頁 定価(本体18,000円+税) ISBN978-4-8169-2391-3 2012.12刊

2016.8

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名

注文書

小川未明Ⅱ 全小説・随筆

〈人物書誌大系45〉

定価(本体18,000円+税) ISBN978-4-8169-2609-9

冊



9784816926099